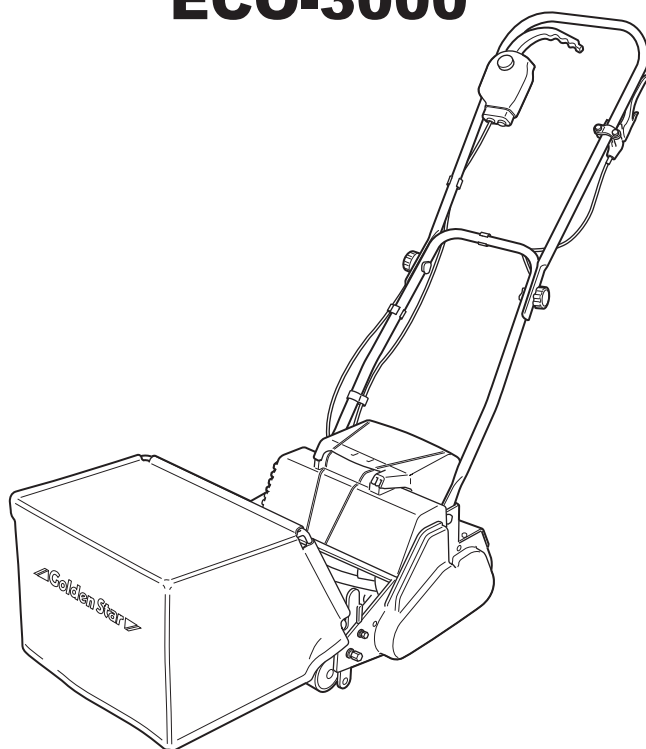


Golden Star LAWN MOWER

取扱説明書

ゴールドスター 充電式自走 芝刈機 エコモアー エコモ ECO-3000



— お買い上げありがとうございました。 —



- この取扱説明書は、いつでも使用できる所に大切に保管してください。
- ご使用前に、まずこの取扱説明書をよく読まれ、本機の機能をご理解の上、正しく安全に使用くださるようお願い致します。






頑丈・安心・日本製

目 次

1. 安全にお使いいただくために 1～5	6. 作業操作方法 10
1) 芝刈機本体 1～3	1) 刈高さ調節 10
2) 電池パック・充電器 4・5	2) 電池パックの接続 10
2. 各部の名称及び、 危険・警告ラベル貼付位置 6	3) 操作方法 11
3. 仕様 6	4) ブレーカー（過負荷保護）ボタン 12
4. 組み立て 7	5) 刈り込み作業 13
1) ハンドルの組み立て 7	7. 点検・整備・調整 14
2) グラスキャッチャー組み立て 7	1) 回転刃と受刃の調整 14
5. 作業前の点検 8	2) Vベルトの点検と交換 15
1) 走行クラッチケーブルの調整 8	3) 回転刃、受刃のラッピング研磨 16・17
2) エアークリーナーの点検 9	8. お手入れと保管方法 18
3) 電池パックの充電方法 9	9. 別販売部品 19
	10. 本機の異常と対策 20
	11. 電気配線図 21



1. 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では『危険』『警告』『注意』の警告事項について、次のように定義しています。

 危険	<ul style="list-style-type: none"> 誤った取り扱いをした時に、<u>重傷または死亡</u>につながる重大事故が発生する可能性があるとき。
 警告	<ul style="list-style-type: none"> 誤った取り扱いをした時に、<u>重大な傷害</u>を受ける事故が発生する可能性があるとき。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> 誤った取り扱いをした時に、<u>軽傷または中程度の傷害</u>をうけ、財物の損壊等につながる事故が発生する可能性があるとき。

本機のご使用前に、以下の危険、重要警告及び注意事項をよくお読みいただき、理解し必ず守ってください。

1) 芝刈機本体

 危険	<p>重大事故が発生する場合がありますので、絶対にやめてください。</p>
<p>1. <u>刃部に手足等身体を近づけない</u>でください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 回転刃で手・足等身体を切断もしくは、巻き込んで重大な人身事故をまねきます。 <p>特に、電池パックを電池ホルダーに差し込んでいる間は、絶対に刃部に身体を近づけないでください。</p>	
 <p>刃部に手足等、身体を近づけないで下さい。</p>	

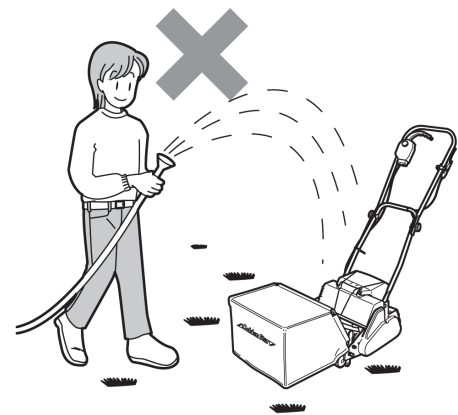
警告

人が重大なケガを負う場合がありますので、必ず守ってください。
禁止事項は、絶対にやめてください。

1. 芝刈り作業以外には使用しないでください。
 - ・特に芝刈機にお子様や物品を乗せないでください。
2. 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。
3. 使用前に、芝生の中の石、木片、金属片等の異物を必ず取り除いてください。
4. 感電の恐れがありますので、下記のような使用はしないでください。



- ・電池パックの端子に金属類・異物を挿入しないでください。
- ・電池パックを分解しないでください。
- ・雨中での作業はしないでください。
- ・雨上がりや散水直後の作業はしないでください。
- ・雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
- ・濡れた手で電池パックの脱着操作をしないでください。
- ・水中に投棄しないでください。



5. 次の作業は、必ず走行クラッチレバーを“切”位置にし、スイッチレバーを戻して、電池パック2個を電池ホルダーより抜き取ってから操作してください。
 - ・組み立てる時。
 - ・グラスキャッチャー（集草器）の脱着時。
 - ・刈り高さの調節をする時。
 - ・回転刃に石、木片等の異物が入って異常を感じた時。
直ちに使用を中止し、走行クラッチを“切”位置にし、スイッチレバーを戻して、電池パックを必ず2個取り外した後、異物を取り除き、回転刃、受刃、ベルト等本機に異常がないか点検し、異常があれば修理してください。
 - ・回転刃と受刃の調整を行う時。
 - ・ベルトの点検、交換をする時。
 - ・回転刃・受刃の交換をする時。
 - ・その他調整・点検・修理を行う時。
 - ・持ち運びする時。
 - ・使用しない時。保管する時。

⚠ 注意

人がケガをしたり、物が壊れたりする原因となりますので、十分ご注意ください。

1. 本機の組み立て・点検・調整及び、回転刃、受刃の交換などを行う場合は、必ず手袋を着用してください。
2. 操作時は常に安全に注意し、作業に適した服装をしてください。
 - ・だぶついた服はさけ、作業に適した服装に目を保護するゴーグルや、滑りにくい靴・ゴム手袋を着用してください。
3. 使用前に本機の調整箇所及び、組み立て方法を確認してください。
 - ・各部のネジにゆるみがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか十分点検してください。
 - ・本機の組み立てを適切に行ってください。
 - ・刃調整を適切に行ってください。
 - ・電池ホルダーの端子のほこり・汚れを取除いてください。
 - ・専用充電器で電池パックを充電してください。
 - ・エアフィルターの刈草・ほこり等を取除いてください。

※異常があった場合は、直ちに使用を中止し、適切な調整・修理を行ってください。
4. 使用中は、他の人や動物を近づけないようにしてください。
5. 本機の操作方法をご存じない方又は、理解できない方には操作させないでください。
6. 濡れた芝を刈らないでください。
 - ・感電の恐れがあるばかりでなく、サビなど芝刈機の故障の原因となります。
7. 傾斜面等、不安定な場所での作業及び、本機を放置しないでください。
 - ・ハンドルを立てた状態では倒れやすく、転倒の恐れがあります。
8. グラスキャッチャー、表面カバー、モーターカバー、ベルトカバー等部品を外した状態で使用しないでください。
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気の少ない所に保管してください。
 - ・サビが発生したり、刃が切れなくなる場合があります。
10. 使用後は、お子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管してください。
11. 収納する時は、ハンドルを外すか、倒れても危険のないようにしてください。
12. 本機の修理は必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
 - ・本機に異常を感じた時は、直ちに作業を中止してください。
 - ・当社指定のサービスマン以外、取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないでください。
13. ゴールデンスター純正の部品、付属品を使用してください。
 - ・本機指定の純正部品以外、使用しないでください。
14. 芝刈機で使用していますリチウムイオン電池は、リサイクル可能な希少資源を含んでいます。不要になったリチウムイオン電池は販売店までお持ちください。

2) 電池パック・充電器



警告

人が重大なケガを負う場合がありますので、必ず守ってください。
禁止事項は、絶対にやめてください。

1. 専用の充電器や電池パックを使用してください。
 - 充電器と電池パックは取扱説明書に記載されているものを使用してください。専用品以外のご使用は発熱、破裂、発火の原因となり、傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
2. 正しく充電してください。
 - この充電器は定格表示してある家庭用コンセント（AC100V）で使用してください。直流電源やエンジン発電機・変圧器で使用しないでください。異常な発熱、火災の恐れがあります。
 - 気温が0℃未満、あるいは40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 電池パックは、換気のよい場所で充電してください。電池パック、充電器の通風孔をふさがないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 充電中に発煙、異臭などの異常が発生した場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 8時間を超えても充電が完了しない場合には、充電を中止してください。
 - 使用しない時は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグおよびコンセントに溜まったほこりや汚れは、乾いた布で拭取ってください。感電や火災の恐れがあります。
3. 電池パックの端子間を接続(以下短絡)させないでください。

金属類が入ってる箱等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。
4. 感電に注意してください。
 - 濡れた手で、電池パックや充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
5. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 充電器、電池パックを雨中で使用したり、湿った、または、濡れた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 可燃性のある液体やガスがある場所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
 - 雷が発生している時は充電せず、電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷による火災、感電の恐れがあります。
 - ほこりや粉塵の多い場所で使用、保管しないでください。内部に粉塵などの異物が入ると、発熱、火災、事故の原因となります。
6. 電池パックを火中に投入しないでください。破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
7. 電池パックおよび充電器の取り扱いに注意してください。
 - 電池パックを使用しない時、保管する時は、芝刈機より取り外し短絡防止の為に端子カバーを取付けてください。
 - 電池パックおよび充電器を落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。外郭ケースが破損した場合は使用しないでください。発熱、火災、感電等の恐れがあります。
 - 電池パックおよび充電器を分解したり、改造したりしないでください。発熱、火災、感電、けがの恐れがあり、事故の原因となります。

⚠ 注意

人がケガをしたり、物が壊れたりする原因となりますので、十分ご注意ください。

1. 作業場を管理し、子供を近づけないでください。
 - 作業関係者以外触れさせないでください。けがの恐れがあります。
(特に小さなお子様には大変危険です。)
2. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の恐れがあります。
 - 電池パックを長期間保管する場合は、温度が30℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の中車内など)に保管しないでください。電池パックの劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
 - 6ヶ月以上使用しない時は6ヶ月毎に電池パックを実用充電まで充電してから保管してください。
 - 充電完了後は、必ず電池パックを充電器から外して保管してください。
3. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角の尖った所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
 - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検しお買い求めの販売店へ修理を依頼してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。
4. 異常に気がついた時は、お買い求めの販売店へ点検・修理に出してください。
 - サービスマン以外の方は、電池パックや充電器を分解・修理しないでください。十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

重要項目

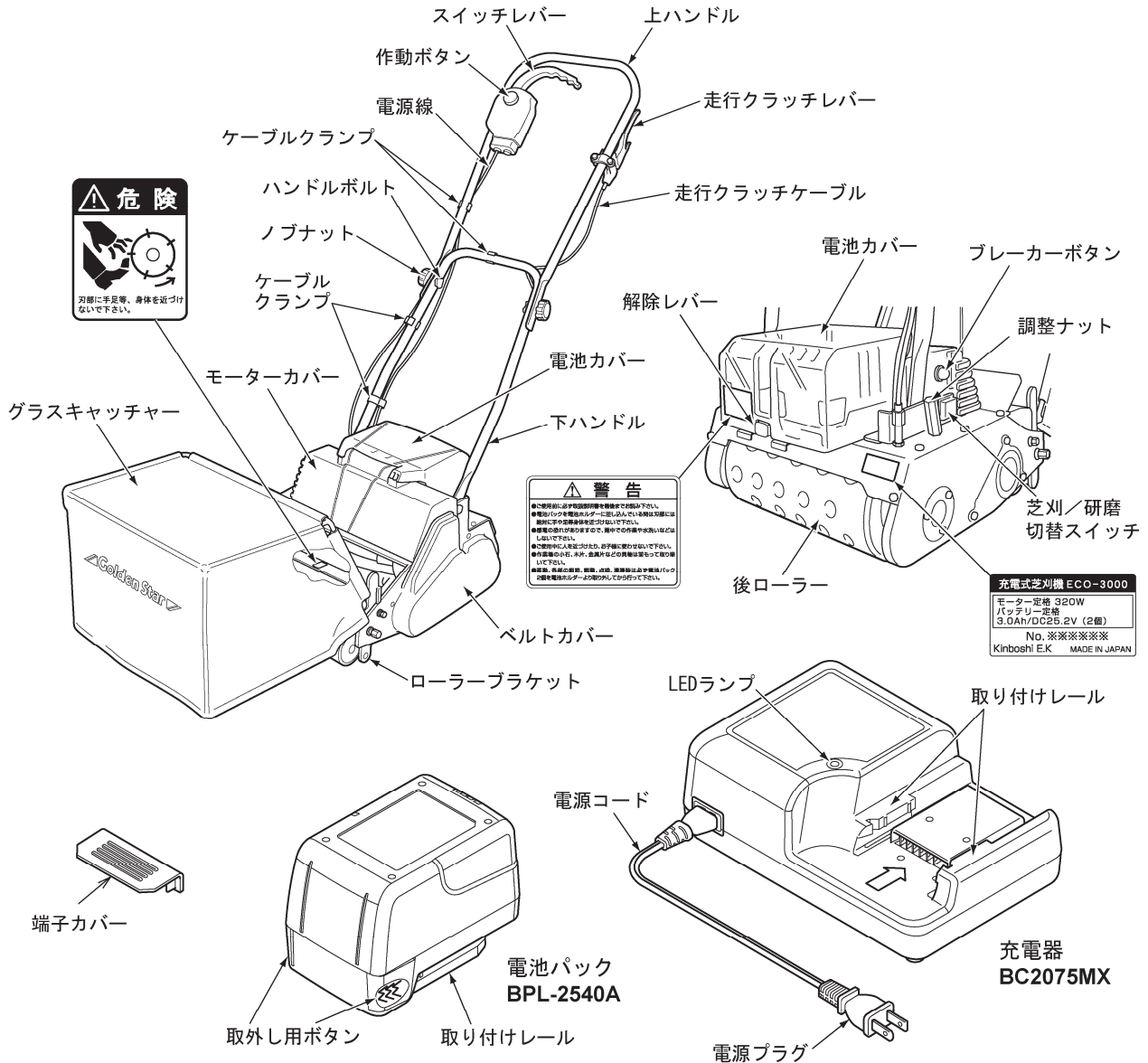
この電池パックには電池パックの発火・破裂等防止の為に保護回路が組み込まれていて、下記事項を遵守しなければ、電池パックの故障(保護回路が作動)の原因になります。

☆保護回路が作動すると、電池パックは再使用ができません。

※作業条件によっては、芝刈機本体に組み込まれているモーター用の焼損防止ブレーカーよりも先に作動する場合があります。

1. 芝刈開始時・作業中にリール(モーター)回転がロックする様な使い方はしないでください。
 - 刈高さを極端に低くして、長い芝生を一度に刈込むような作業等及び、芝刈作業現場のリールとナイフとの間で噛込む恐れのある小石・木片・金属片等を取除いてから作業を開始してください。
2. 刃のスキマ調整を極端に強い調整にしないでください。
(刃のスキマ調整方法は回転刃と受刃の調整(P.14)を参照してください。)
3. 作業中にモーター回転が停止した場合、芝刈り機本体のブレーカーの作動の有無を確認してください。
 - ブレーカーが作動してボタンが飛び出していれば、本体取扱説明書を参照の上、対応してください。
 - ブレーカーが作動していない場合は充電器で充電してください。約2時間経過しても充電を開始しない場合(充電器のLEDが赤色の点滅)は電池パックが故障(保護回路が作動)しています。
※この場合は電池パックの再使用ができません。

2. 各部の名称及び、危険・警告ラベル貼付位置



3. 仕様

型 式	ECO-3000	刈り込み高さ	5~30mm
モーター定格	320W/DC24V	自 走 速 度	約 2.5km
モーター定格時間	30分	刈り込み能力	約 188m ² /30分
電池パック定格 型式：BPL-2540A	3.9Ah/DC25.2V×2 個	寸 法	1350×425×800(高さ)mm (キャッチャー、ハンドル組み立て)
刈り取り方式	リールカッター 5枚刃		
刈り込み幅	300mm	質 量	約 24.5kg
専用充電器 型式：BC2075MX	入力 AC100V・50/60Hz 出力 25.2V 2.0A	充 電 時 間	約 120分/個
同 梱 品	①電池パック 2個 ②専用充電器 1台 ③キャッチャーバック 1個 ④キャッチャーフレームセット 1セット ⑤ノブナット 2個 ⑥ハンドルボルト 2個 ⑦ラッピングコンパウンド 1本 ⑧ブラシ 1本 ⑨ケーブルクランプ 4個 ⑩スパナ(10×12) ⑪スパナ (13)		

※この仕様は、予告無く変更する場合があります。

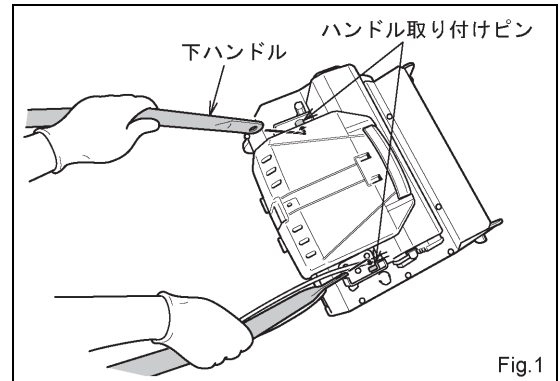
4. 組み立て

⚠ 注意

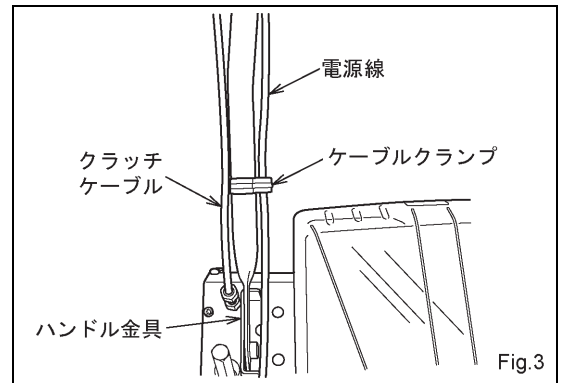
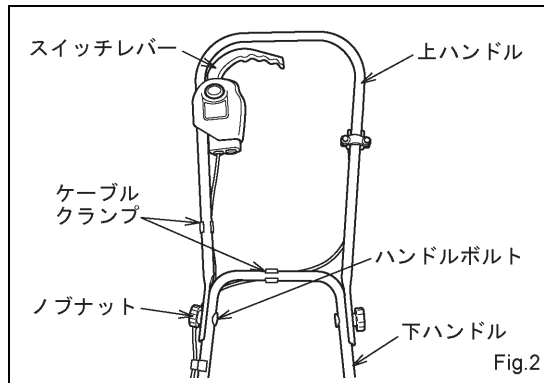
・組み立て作業時には、必ず手袋を着用願います。

1) ハンドルの組み立て

- (1) 下ハンドルを本機上部のハンドル取り付けピンにはめ込みます。(Fig.1)

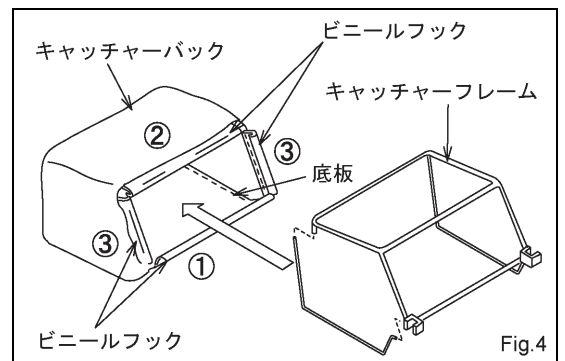


- (2) 上ハンドルのスイッチレバーがキャッチャー側より見て左になるように下ハンドルに上ハンドルを取り付けます。ハンドルボルトを内側から入れ、ノブナットで締め付けてください。
※この時に、クラッチケーブル・電源線をハンドル金具に挟み込まないように、下ハンドルにケーブルクランプで固定する。(Fig.2・3)

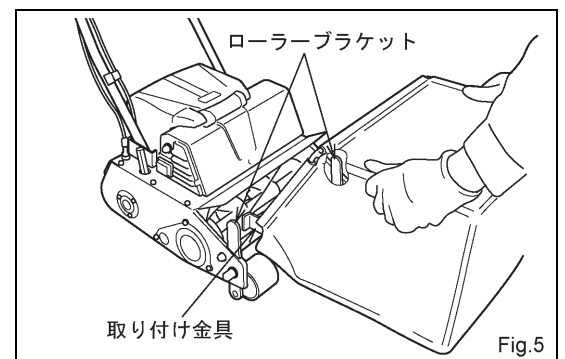


2) グラスキャッチャーの組み立て



- (1) キャッチャーフレームをキャッチャーバックの中に入れてください。
(2) ビニールフックを①②③の順でフレームに取り付けてください。(Fig.4)



- (3) グラスキャッチャーのセットは取り付け金具を本機のローラーブラケット (左右) に差し込んでください。(Fig.5)




5. 作業前の点検

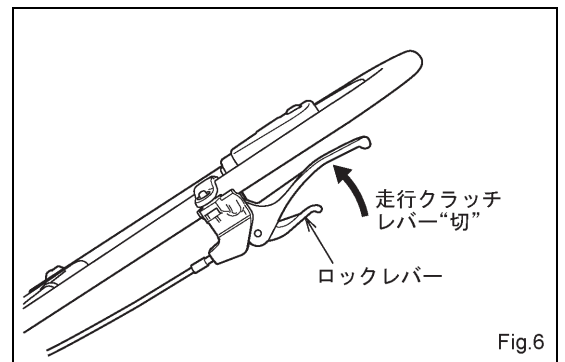
 警告	<ul style="list-style-type: none"> 点検・調整時には、必ず走行クラッチレバーを“切”位置にし、スイッチレバーを戻して、電池パック2個を取り外してから作業を行なってください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> 使用前に本機調整箇所及び、組み立て方法を確認してください。異常があれば直ちに修理してください。

- (1) 各部のネジにゆるみがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか十分点検してください。
- (2) ハンドル、グラスキャッチャー等本機の組み立てを適切に行なってください。
- (3) 刃調整を適切に行なってください。(P.14 参照)

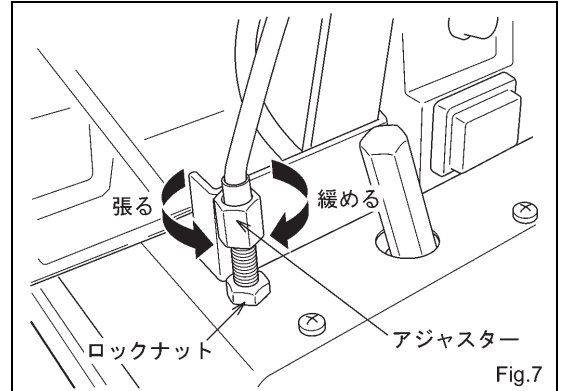
1) 走行クラッチケーブルの調整

 警告	<ul style="list-style-type: none"> 走行ケーブルの調整は確実に実施してください。クラッチレバーが“切”位置で走行しないよう調整してください。不意の操作で芝刈機が走行して大変危険です。
---	---

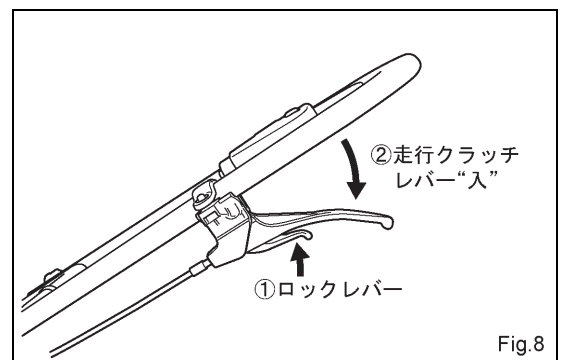
- (1) 走行クラッチが正常に機能するか点検してください。
※この確認は、芝刈機の周囲に人・ペットがいないことを確認してから電池パックを差込、スイッチレバー操作をして確認してください。(Fig.6)




- (2) 走行クラッチレバーが“切”位置で絶対に走行しないこと。走行する場合は、ロックナットを左に回しアジャスターを“張る”方向に回して調整します。調整が終われば、確実にロックナットを右方向に回しアジャスターを固定します。(Fig.7)



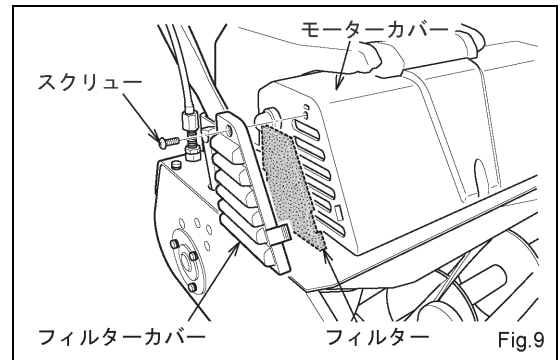
- (3) 走行クラッチレバーのロックレバーを上引き解除して走行クラッチレバーを“入”位置にして走行することを確認する。走行しない場合には、ロックナットを左方向に回しアジャスターを“緩める”方向に調整します。調整が終われば、確実にロックナットを右方向に回しアジャスターを固定します。(Fig.8)




2) エアークリーナーの点検

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・モーター焼損防止の為、エアークリーナーは定期的に清掃してください。
---	--

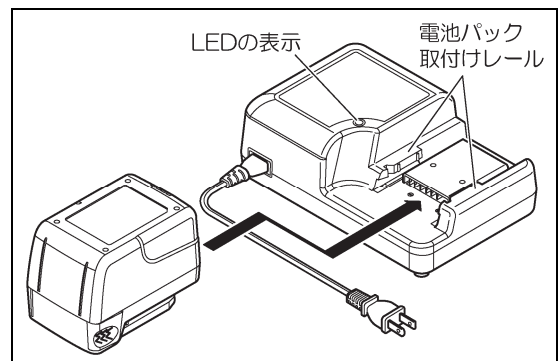
- (1) スクリューを緩め、フィルターカバー・フィルターをモーターカバーより取外してください。(Fig.9)
- (2) フィルターに詰まっている刈草・埃等を取除いてください。
- (3) 刈草・埃等を取除いた後、フィルター・フィルターカバーをモーターカバーにスクリューで締付け取り付け付けてください。









3) 電池パックの充電方法

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず2個とも満充電してから使用してください。 ・電池パックの型式及び充電時間・使用時間の異なる電池パックを混同して使用しないでください。 ※電池パックの保護回路が作動します。 ・充電器の電源プラグは、必ず家庭用コンセント（AC100V）に接続してください。また、直流電源やエンジン発電機では充電しないでください。充電器が異常に発熱し、故障します。
---	--

- (1) 充電器と電源コードを接続し、電源プラグを家庭用コンセント（AC100V）に差し込んでください。この時、LEDは消灯状態です。
- (2) 電池パックを装着します。端子カバーを取外し、充電器の電池パック取付けレールに沿って、奥までしっかりとスライドさせてください。(Fig.10) 正しく装着されるとLEDランプのレッド（赤色）が点灯し、充電を開始します。充電が完了するとLEDランプのグリーン（緑色）が点灯します。
- (3) 必ず電池パックを取り外してください。
- (4) コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器のLED表示

LED表示状態		充電状態
色	点灯状態	
消灯	 消灯	コンセントに差し込んだ状態
レッド	 連続点灯	充電中
グリーン	 点滅	実用充電（80%）完了 ※1
グリーン	 連続点灯	充電完了
オレンジ	 点滅	充電待機（電池パックの温度が高い時/低い時） ※2
レッド	 点滅	充電不可（電池パックの異常時など） ※3


※1 約80%容量の充電ができています。この状態で芝刈作業はできますが、作業時間は短くなります。

※2 そのまま充電を続けてください。

※3 電池パックの故障もしくは寿命が考えられるので、修理もしくは新品と取り替えてください。

6. 作業操作方法

1) 刈り高さ調節

 警告	<ul style="list-style-type: none"> 刈り高さを調節する時は、必ず走行クラッチレバーを“切”位置にし、スイッチレバーを戻して電池パック2個を電池ホルダーから取り外して行なってください。
---	---

- 刈り高さは5～30mmの間で調節できます。
- (1) 刈り高さの調節は刈り高さ調節ノブをゆるめ、ローラーブラケット内側の目盛りをあわせませす。(Fig.11)
- (2) 刈り高さ調節ノブをしっかりと締め付けます。必ず左右同じ高さに調節してください。

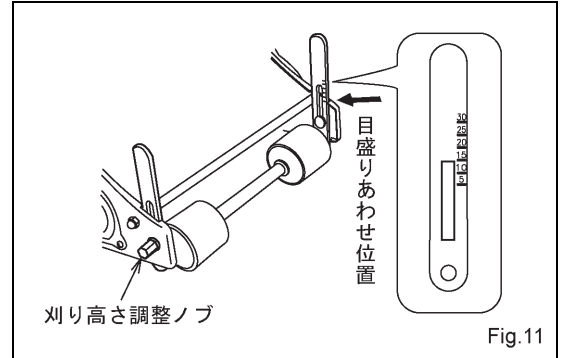




Fig.11

2) 電池パックの接続

 警告	<ul style="list-style-type: none"> 感電の恐れがありますので、電池パックの端子に触れないでください。 電池パックに強い衝撃を与えないでください。発熱、火災、感電等の恐れがあります。 外郭ケースが破損した場合は絶対に使用しないでください。
---	--

 注意	<ul style="list-style-type: none"> 電池パックは必ず2個共差し込んで作業してください。 ※同じ型式・同じ状態（充電・使用時間）の電池パックを使用してください。 電池パック、電池ホルダーの端子の埃等を取り除いてください。接続不良になり電流が流れません。
---	---

- (1) スイッチレバーを戻し、走行クラッチレバーが“切”位置になっている事を確認してください。(Fig.12)

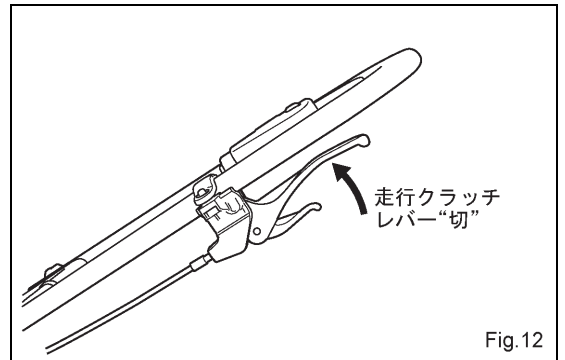


Fig.12

- (2) 解除レバーを押して電池カバーを開け、芝刈機後方より電池ホルダーの取付けレール部に電池パックを2個共に確実に差し込んでください。確実に差し込むと“カチッ”と音がします。(Fig.13・14・15)

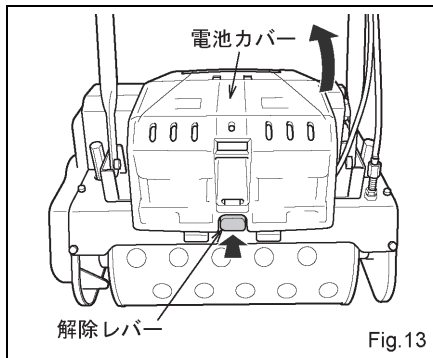


Fig.13

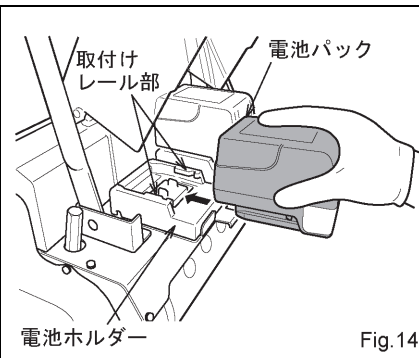


Fig.14

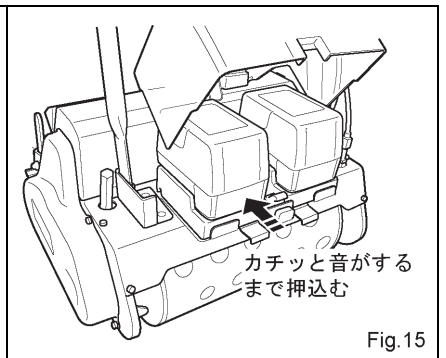



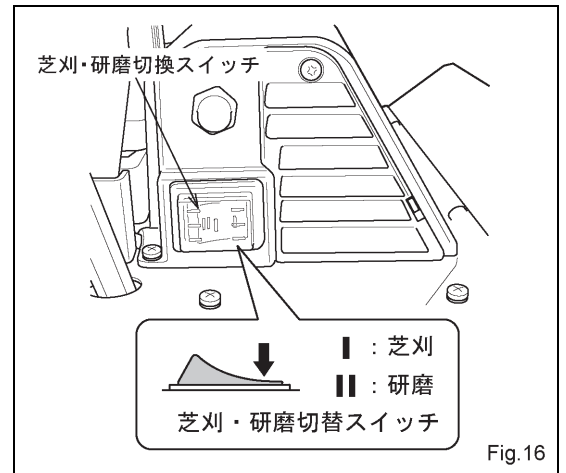
Fig.15


- (3) 電池カバーを解除レバーでロックが掛かるまで確実に閉める。

3) 操作方法

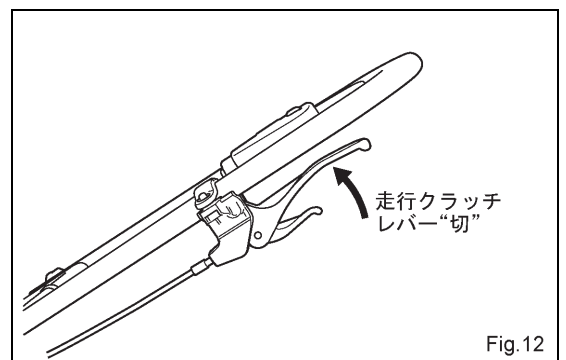
 警告	<p>・芝刈・研磨切換スイッチを操作する時は、必ず走行クラッチレバーを“切”位置にし、スイッチレバーを戻して、電池パック2個を取り外してから行なってください。</p>
---	---

- (1) モーターカバー側部の芝刈・研磨切替スイッチを『芝刈：I』にしてください。(Fig.16)

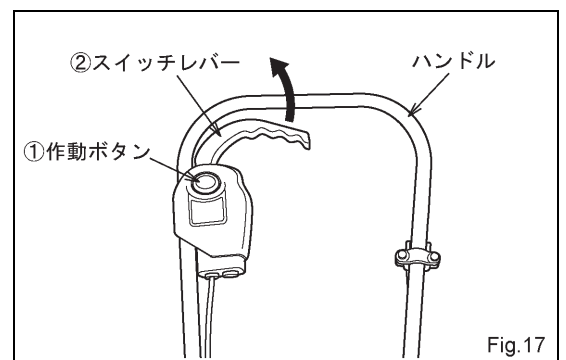


 警告	<p>・<u>スイッチレバー操作をする前は、必ず走行クラッチレバーが“切”位置になっている事を確認してから行なってください。</u></p>
---	--

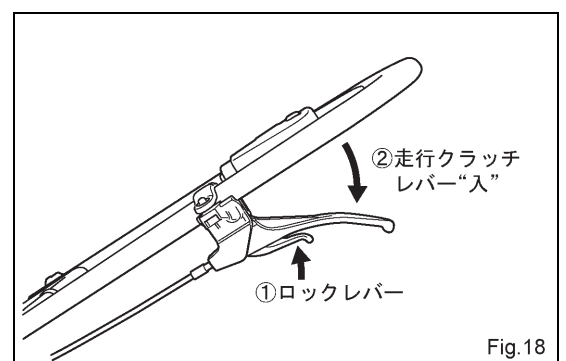
- (2) 走行クラッチレバーを“切”位置にします。(Fig.12)



- (3) 作動ボタンを押した状態でスイッチレバーを手前に引けば(↑方向)スイッチが入り回転刃が回転します。(Fig.17)



- (3) 自走させる場合は、上記操作をした後で走行クラッチレバーのロックレバーを上へ引き解除させて“入”位置にしてください。(Fig.18)

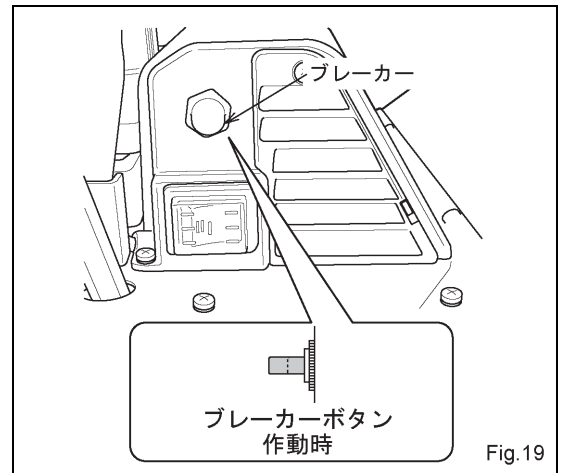


4) ブレーカー（過負荷保護）ボタン

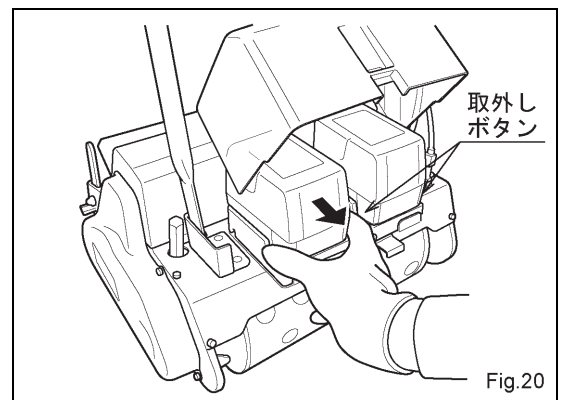
⚠ 警告

• 芝刈機に詰まった芝生、雑草、異物を取り除く時は、電池パック 2 個を電池ホルダーより取り外してください。

- (1) 作業中、モーターに異常負荷がかかるとブレーカーが作動して自動的に電源が切れます。(Fig.19)

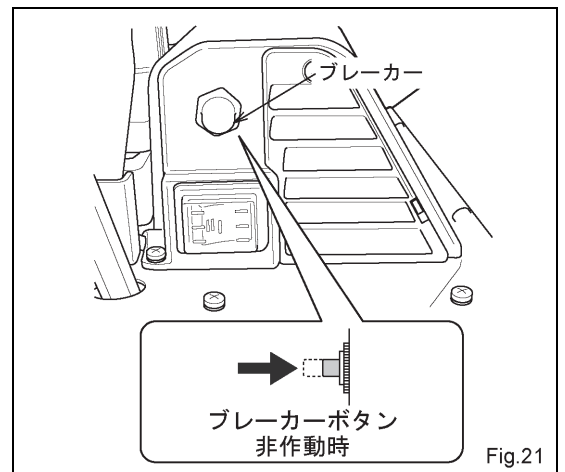


- (2) 直ちに走行クラッチレバーを“切”位置にし、スイッチレバーを戻して、電池パックの取外しボタンを押しながら電池パック 2 個を電池ホルダーより抜いてください。(Fig.20)



- (3) 異常負荷の原因である回転刃に詰まった芝生、雑草、異物や排出口付近にある芝生、雑草等を取り除いてください。

- (4) 60秒以降にブレーカーボタンを押し、電池パック 2 個を差し込み、動作確認を行ってから作業を再開してください。(Fig.21)



重 要

• 電池パックに異常電流が流れた場合には、本体のブレーカーが作動する前に電池パックの保護回路が作動する場合があります。その時は、電池パックを取り外し充電器で充電してください。充電が開始しない場合は、電池パックが故障しています。

5) 刈り込み作業

⚠ 注意

- 長く伸びた芝生を刈り取る場合は、最初、刈り高さを高くし、日を置いてから、順次高さを低くして刈り込んでください。
最初から短く刈り込むと芝刈機の故障の原因となるばかりでなく、大切な芝生も傷めます。

- (1) 作業前に芝生の中の石、木片、金属片等の異物を必ず取り除いてください。(Fig.22)

※作業中に本機回転刃が石などに当たった時は、直ちにスイッチレバーを戻し走行クラッチレバーを“切”位置にし、作業を中止して、回転刃が停止していることを確認してから、電池パック2個を電池ホルダーより抜いて、刈刃に割れ、欠けなどの異常及び、ベルトに亀裂等の有無を点検してください。

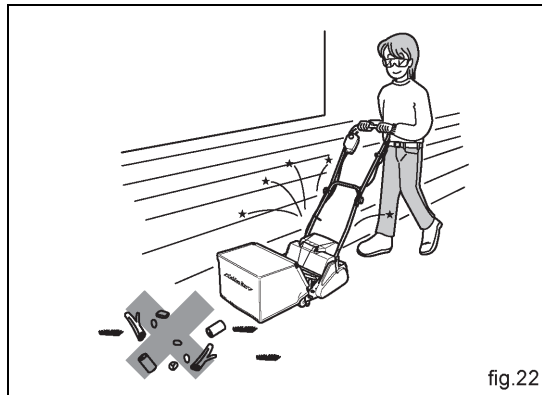


fig.22

- (2) 芝刈機の刈り込み幅を全部使わないで、常に刈り込み幅の約1/3程度重複して刈れば、刈り跡が平らにしかもきれいに刈れます。(Fig.23)

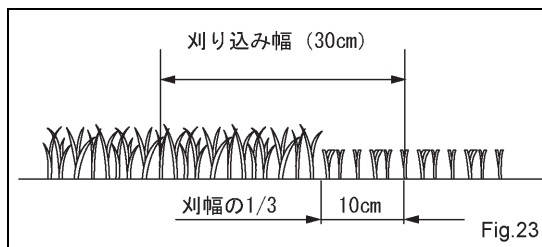


Fig.23

- (3) 一通り刈り終わりますと、今までと直交する方向、斜め方向で刈り込めば刈り跡がきれいになります。(Fig.24)

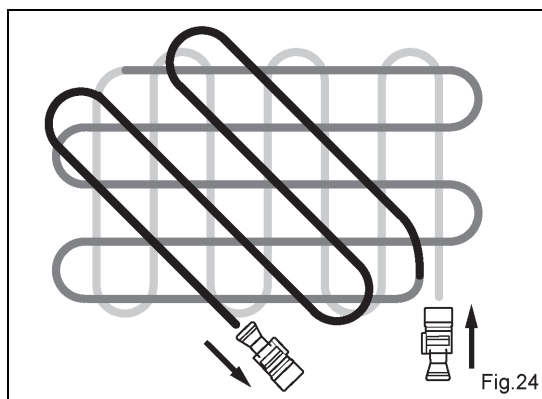


Fig.24

- (4) 50mm以上長く伸びた芝(A)を刈る場合は、あらかじめ刈払機、芝生バサミ、鎌等の道具を用いて50mm以下になるように下刈り(B)を行なってください。次に本機の最大刈り込み高さ30mmで刈り込んだ後(C)に希望の高さで刈り込んでください。(Fig.25)

※日を置いてから希望の高さで刈り込んでください。
※必ず葉の部分が残る様に刈り込んでください。葉の部分がなくなる(軸刈り)と芝生が枯れ再生するまでにかなりの時間を必要とします。(Fig.26)

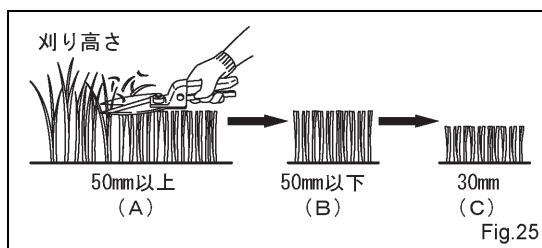


Fig.25

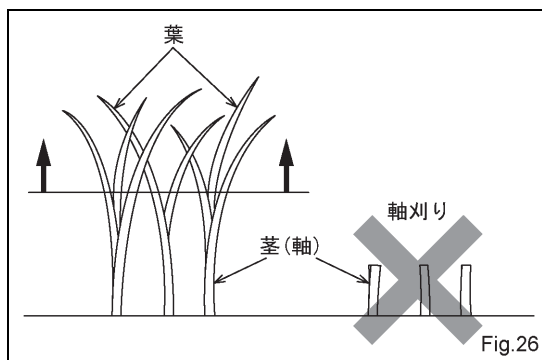


Fig.26

7. 点検・整備・調整

⚠ 警告

- 点検・整備・調整を行なう時は、必ず走行クラッチレバーを“切”位置にし、スイッチレバーを戻して、回転刃が停止していることを確認してから、必ず電池パック 2 個を電池ホルダーより取り外してください。
- 点検・整備・調整を行なう時は、必ず防塵メガネ・手袋を着用してください。

1) 回転刃と受刃の調整

(1) 回転刃と受刃のスキマを調整します。

- ① 出荷時には調整をしておりますが、輸送中に調整が変わっている場合がありますので、最初のご使用前に点検及び調整を行ってください。

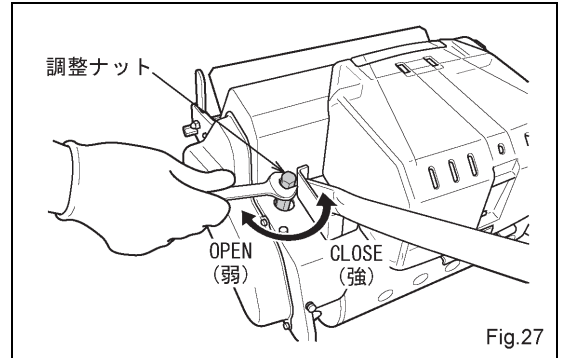


Fig.27

- ② 本機モーターカバー後方の調整ナットを『OPEN』方向に回すと回転刃と受刃のスキマは大きくなります。また、『CLOSE』方向に回すと回転刃と受刃のスキマは小さくなります。(Fig.27・28)

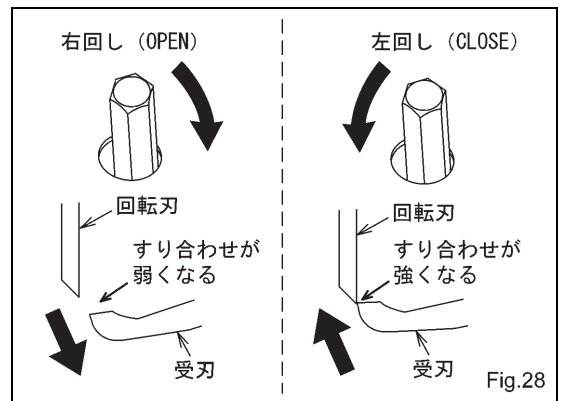


Fig.28

(2) 刃の隙間調整は必ず左右平均にします。

0.1mm～0.2mm 程度のスキマに調整します。スキマが大きい (0.2mm 以上) と芝生が切れ難くなりスキマが小さい (0.1mm 以下) と、芝生は切れますが芝刈機にかかる負荷が大きくなり一回の充電で芝が刈れる面積が少なくなります。また、回転刃・受刃が接触している状態 (スキマが 0 mm に近い) では、芝刈機に掛かる負荷が大きくなり過ぎ故障の原因となります。

(3) 調整方法は、平地の安定した場所でローラーブラケットの刈高さを一番低い位置“5mm”位置にしてください。次に本機を上下逆 (固定刃が上) に成るようにおきます。(Fig.29)

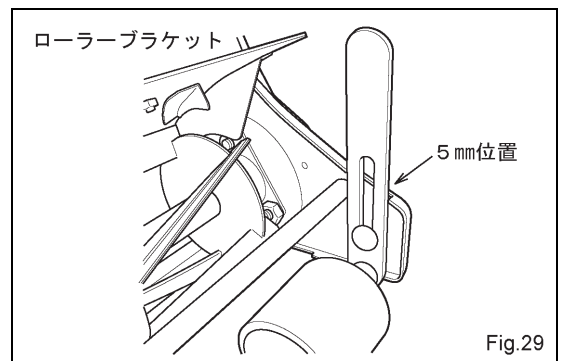


Fig.29

(4) コピー用紙 (約 0.1 mm) を 20～30 mm の幅に切り、2枚重ね、回転刃と受刃の間に入れて、回転刃を手でゆっくりと回し、この時にコピー用紙 1 枚が切れて 1 枚が切れずに残る調整が最良です。この状態になるように、左・右・中央部全てがこの状態になるように調整します。(Fig.30)

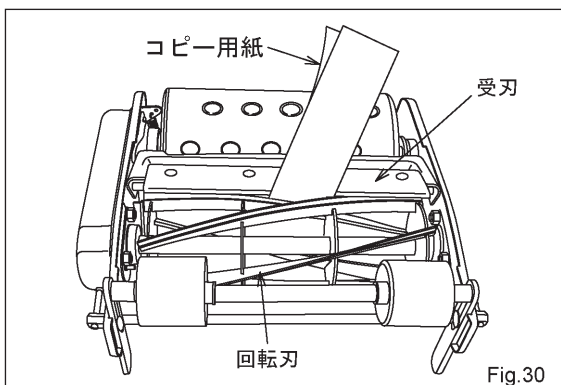


Fig.30

調整状態	きつい	良	ゆるい
紙の切味状態			

2) Vベルトの点検と交換

⚠ 警告

・点検・整備・調整を行なう時は、必ず走行クラッチレバーを“切”位置にし、スイッチレバーを戻してから、回転刃が停止している事を確認し、電池パック2個を電池ホルダーより取り外した後に行なってください。

(1) Vベルトの点検

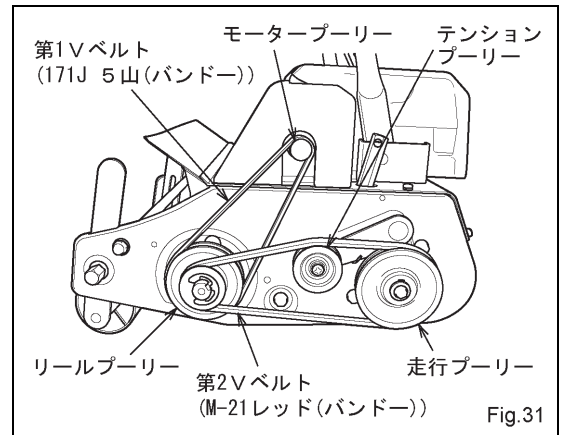
ベルトカバーを外して定期的に各ベルトにワシ、裂け、重度の磨耗等がないか点検してください。

(2) Vベルトの交換

① ベルトカバーを外してください。


② 古くなったベルトを外し、新しいベルトを取り付けてください。


- ・第2ベルトを外す場合は、走行プーリー側からベルトを外します。走行プーリーからベルトの一部を取り外しながら、走行プーリーを手で回すと外れます。
- ・第1ベルトを外す場合は、まず第2ベルトを外します。次に、リールプーリーに掛かっているベルトを2山外して、リールプーリーを手で回転させて外します。2山が外れれば残り3山も同じ様にして外します。



- ③ 第一ベルトの交換はまず、モータープーリーにベルトの2山を掛け、次にリールプーリーにベルトの2山を掛けてリールプーリーを回します。
- ④ リールプーリー側のベルトが完全に掛かれば、モータープーリー側の全山数(5山)が掛かるまで、モータープーリーを手で回しながらベルトを移動させてください。
- ⑤ 次にリールプーリー側も同様に全山数(5山)をかけてください。
- ⑥ 全山数が完全に掛かれば、なじます為に2~3回リールプーリーを手で回転させて、ベルトの外れが無いか確認してください。
- ⑦ 第二ベルトは、まずリールプーリー側に取付け、テンションプーリーを内側にセットしてから、走行プーリーに一部を掛けながら走行プーリーを手で回して完全に掛けます。
- ⑧ ベルトの点検・交換が終わればベルトカバーを必ず取り付けてください。

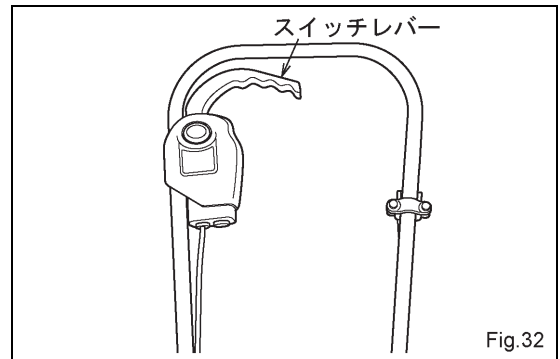
3) 回転刃、受刃のラッピング研磨

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ラッピング研磨作業中、芝刈・研磨切替スイッチは絶対に『芝刈』側にしないでください。スイッチを『芝刈』側にして研磨を行なうと巻き込まれ大変危険です。
---	---

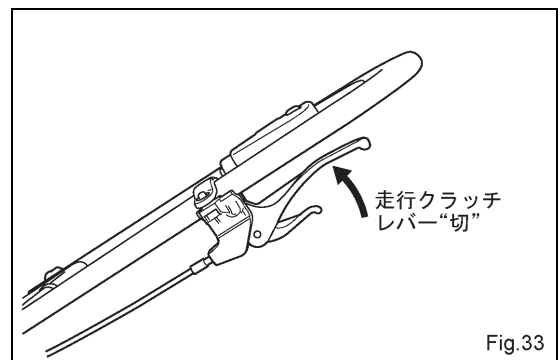
 注意	<ul style="list-style-type: none"> 研磨作業中は、必ず防塵メガネ・手袋を着用してください。
---	---

切れ味が悪くなったら、次の要領でラッピング研磨をしてください。

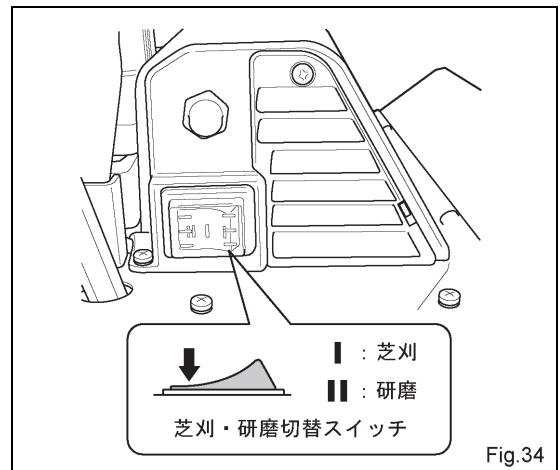
- (1) スイッチレバーを戻し、回転刃の回転が停止している事を確認してください。



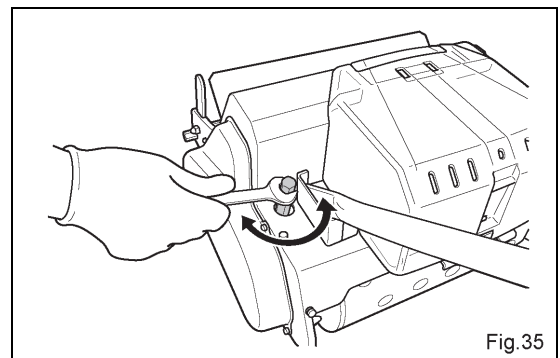
- (2) 走行クラッチレバーを必ず“切”位置にしてください。(Fig.33)



- (3) 芝刈・研磨切替スイッチを『研磨：II』側にしてください。(回転刃が逆回転します。)(Fig.34)



- (4) 回転刃と受刃の左右の刃のすり合わせ調整を、芝刈り時より少し強め(P14 参照)で、左右均等になるように調整してください。(Fig.35)



- (5) 平地の安定した場所で、ローラーブラケットの刈高さを一番低い位置“5mm”位置にしてください。
次に、本機を上下逆(固定刃が上)に成るように置きます。コンパウンド(付属研磨剤)を回転刃と受刃の接触面の一枚一枚に竹ブラシ(付属品)で少量塗布してください。(Fig.36)

※コンパウンド(研磨剤)については、当社純正コンパウンド(研磨剤)をご使用してください。

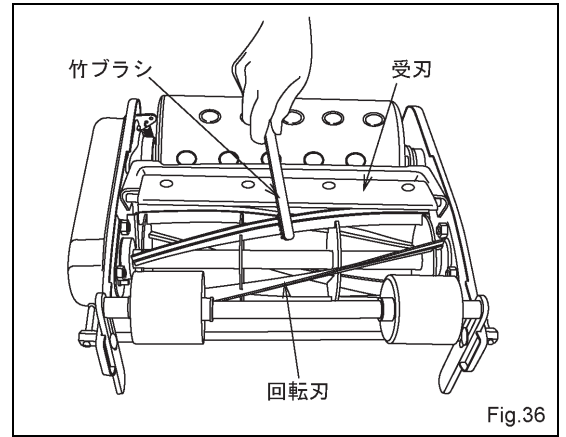


Fig.36

- (6) 必ず本機を通常の位置(受刃を下)に戻し、電池パックを電池ホルダーに差し込み、作動ボタンを押し込みながらスイッチレバーを操作してください。
- (7) しばらく回転するうちにコンパウンドが無くなり接触音が変わってきますので、スイッチレバーを戻します。リールの回転が停止したことを確認した後、電池パック2個を電池ホルダーより抜き、(4)~(6)の操作を数回繰り返してください。
- (8) 研磨作業が終わった後は、回転刃、受刃に付着したコンパウンド(研磨剤)のカスをきれいにふき取ってください。付着したままにしておくと取れなくなり、刃がサビたりして切れ味に影響します。
- (9) 研磨状態が完全であるかどうか調べる目安として、「回転刃と受刃の調整」(P.14 参照)の要領で回転刃、受刃との間にコピー用紙を2枚を重ねて入れ回転刃を手で軽く回してください。コピー用紙の1枚が切れればベストの状態です。(Fig.37)
- (10) 万一、誤って石・金属片・木片等の硬いものを回転刃にかみ込ませ、回転刃が欠けたり曲がったりした場合は、ラッピング研磨では修正できませんので、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。

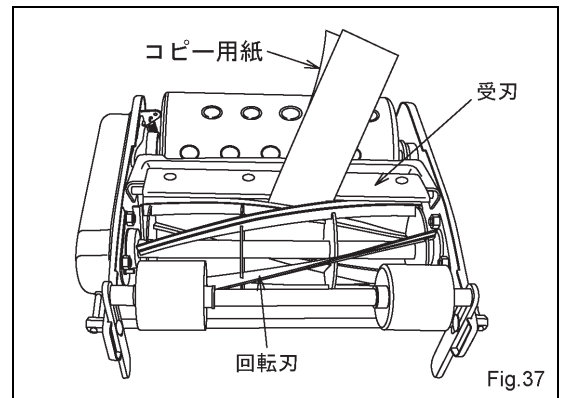


Fig.37

※ラッピング研磨は簡易的な研磨ですので、新品同様の研磨はできません。何度もラッピング研磨した回転刃、受刃は当社サービス部門へ研ぎ直しに出されるか、新品の回転刃、受刃と交換してください。

ラッピング研磨、研ぎ直し、交換時期の目安としては、以下の通りです。

ラッピング研磨 1~2年に1回

研ぎ直し 3~4年に1回

刃の交換時期 5~6年に1回

(ただし、芝刈り作業状況により異なります。)

8. お手入れと保管方法

1. 使用していない時は必ずスイッチレバーを戻し、走行クラッチバーを切り位置にして、電池パック2個を電池ホルダーから抜いてください。
2. 本体・グラスキャッチャー・ハンドル及び、電池ホルダーの端子などを乾布でよく掃除し、金属部分は油布で手入れをしてください。
※ガソリン・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。
3. 掃除の後、よく日の当たる場所で乾燥させてください。
4. 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
5. 回転部に機械油を注油してください。
6. 回転刃、受刃は特によく掃除の後、サビないように油拭きをしてください。
7. 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納してください。
8. 使用後は、お子様の手の届かない鍵のかかる所に保管してください。
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気のない、ゴミ、ホコリの付かない所に格納してください。
10. 格納する時は、ハンドルを外すか、倒れても危険の無いようにしてください。

11. 電池パックは、充電して保管願います。
電池パックは充電後から自然放電を開始し、約6ヶ月～1年で完全放電しますので、長期間保管する場合は6ヶ月毎に実用充電まで充電してください。
電池パックを使用しない時や保管する時は、芝刈機より取り外し、短絡防止の為に端子カバーを取付けてください。(Fig.38)

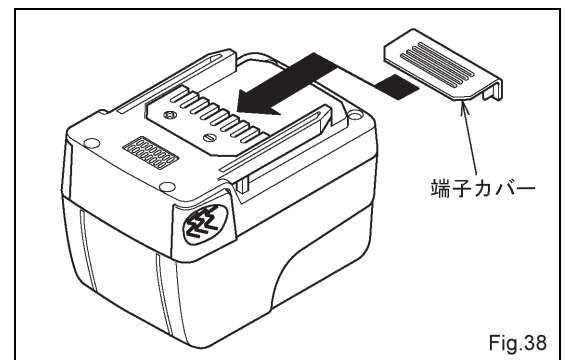


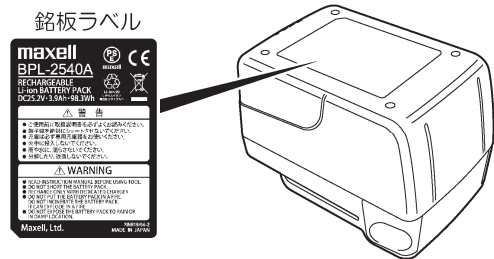
Fig.38

12. 電池パックは、雰囲気温度が30°C以下の場所に保管してください。

9. 別販売部品

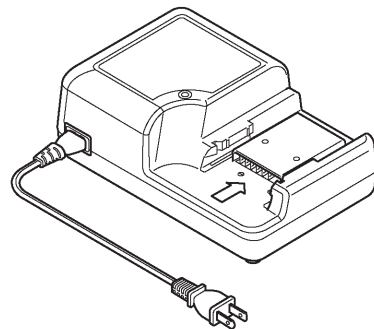
電池パック

- No. BPL-2540A



充電器

- No. BC2075MX



ラッピングコンパウンド

- 100g
- No. 538502

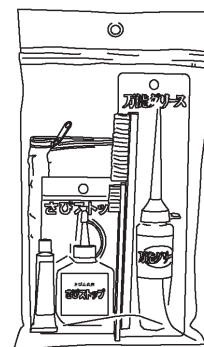


- 1kg
- No. 538501



芝刈機用お手入れセット

- No. 538503
- グリス
- さび止め
- コンパウンド
- ブラシ (大) (小)
- ウェス
- ファスナー付き手さげバック

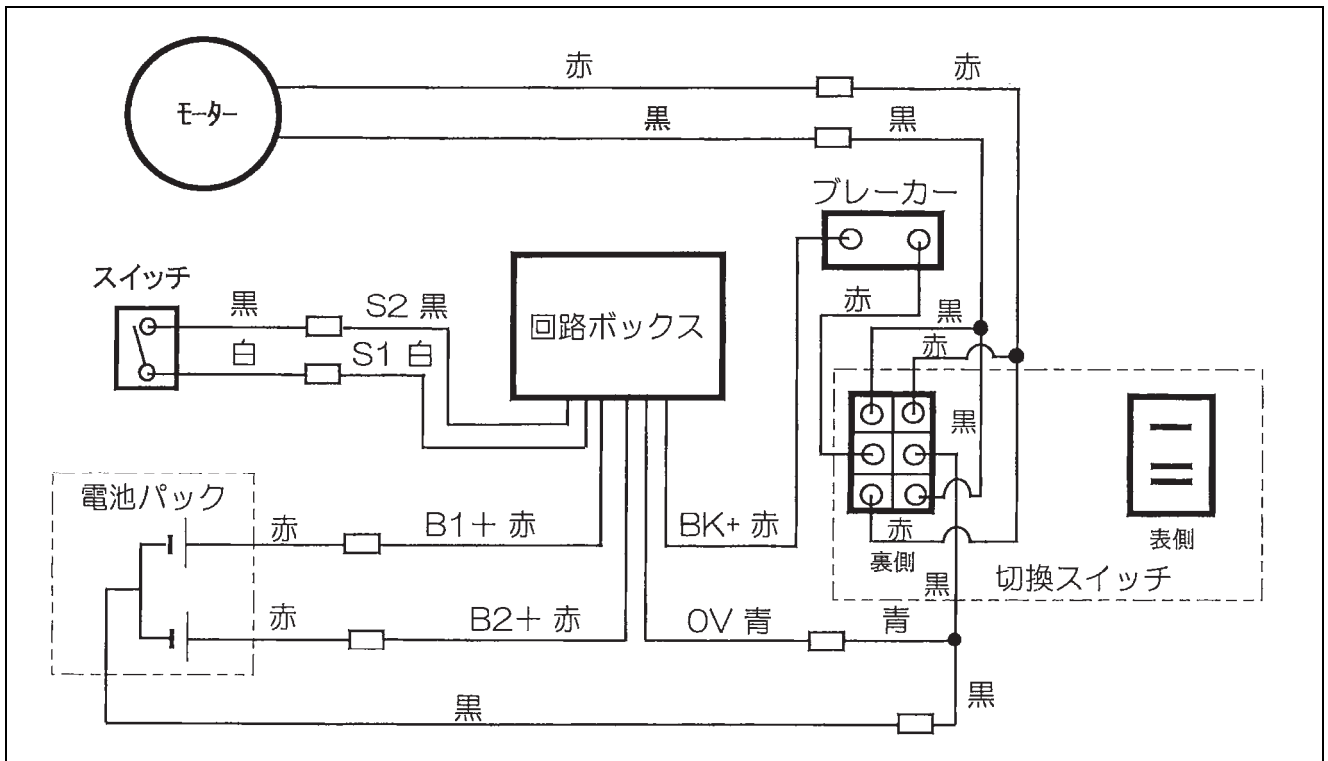


10. 本機の異常と対策

本機に異常があれば、修理に出される前に下表より原因を探り適切な対策を施してください。
 その上でなお異常がある時は、むやみに分解しないでただちに使用を中止し、お買い上げ頂いた販売店またはサービス店へお申し付けください。

状 態	原 因	対 策
モーターが作動しない。	①電池パックの残量が無い。	• 充電する。
	②電池パックが電池ホルダーに差し込まれていない。	• 電池パックを2個確実に電池ホルダーに差し込む。
	③ブレーカーが作動している。	• 負荷原因である回転刃に詰まった芝生・雑草・異物を取り除いた後、ブレーカーボタンを押し作動確認をする。 (P.12)
	④電池パックの保護回路が作動している。	• 充電器に差込み、電池パックの状態を確認する。充電しない場合は電池パックの寿命です。
芝生が上手く刈れない。	①回転刃と受刃のすり合わせ調整が合っていない。	• すり合わせ調整をする。(P.16、17)
	②芝生の刈り取り長さが長い。	• 本機の刈り高さを高くするか、芝生の高さを50mm以下になる様に下刈りをする。(P.13)
	③芝刈・研磨切替えスイッチが「研磨」になっている。	• 芝刈・研磨切替えスイッチを「芝刈」にする。(P.11)
	④回転刃・受刃がカケ・曲がっている。	• 回転刃・受刃を交換する。
	⑤回転刃・受刃が磨耗して芝生が切れ難くなっている。	• 回転刃・受刃を研磨する。
	⑥芝生が密生している。	• 走行クラッチを切り、手押しで刈る。
	⑦芝生が濡れている。	• 降雨後や散水直後の濡れた芝生は刈らない。
	⑧刈込み幅を全部使っている。	• 刈込み幅300mmの2/3(200mm)を目安に重複して刈込む。
ブレーカーが度々作動する。	①芝生の刈り取り長さが長い。	• 本機の刈り高さを高くするか、芝生の高さを50mm以下になる様に下刈りをする。(P.13)
	②回転刃・受刃が磨耗して芝生が切れ難くなっている。	• 回転刃・受刃を研磨する。
	③すり合わせ調整がきつい。	• すり合わせ調整をする。(P.16、17)
	④芝生が密生している。	• 走行クラッチを切り、手押しで刈る。

11. 電気配線図





部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なく
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 〒675-1372
TEL (0794) 62-2391 (代) FAX (0794) 63-5211 (代)

東京支店

東京都中央区日本橋小伝馬町8番3号 〒103-0001
TEL (03) 3664-8811 (代) FAX (03) 3664-8860 (代)

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 〒841-0055
TEL (0942) 85-9277 (代) FAX (0942) 84-2700 (代)

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2-1 〒955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ株式会社